

- ・ 株式会社ジェイアール西日本デイリーサービスネットは、コロナ禍における顧客の行動変容を踏まえ、①ニューノーマルへの対応、②デジタル技術の導入を軸に、駅施設における無人機コーナーの拡大、大阪駅・芦屋駅のリニューアル、JR西日本においてサービス開始を予定している「会員・ポイント共通化施策」への参画等を行います。
- ・ これにより、非対面・非接触ニーズへの対応やリアルならではの体験価値の提供を図るとともに、データを活用したマーケティングによる顧客ニーズの変化に迅速に対応することで、移動の付加価値創造を通じた成長を目指す。

<取組の内容のイメージ ※各施策の一例>

## 1. 事業適応計画の実施期間

2022年8月～2027年3月

## 2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

ROAを5.0%ポイント以上向上させる。

## 3. 前向きな取組の内容

①ニューノーマルへの対応、②デジタル技術の導入を軸に行う取組による売上高が、2026年度における全体の売上高の1%以上になることを目指す。

## 4. 支援措置

税制措置（繰越欠損金の控除上限の特例）

【ヴィайн新規開発】



ヴィайн赤坂<茜音の湯>

2022.11.1 OPEN

【大阪駅店舗リニューアル】



エキマルシェ大阪



ヴィайн札幌(仮称)

2023年秋 OPEN

【自販機コーナー化】



SMART KIOSK

【無人機】



冷凍自販機



シェアオフィス



モバイルバッテリー  
レンタルサービス